



## 体験！震災訓練



2月28日に町内の女性防火クラブ8団体のうち4団体（会所・荷稻・川奥・鞭）から17名、3月12日は防災サポーター養成講座の受講者15名の総勢32名が高知県消防学校（いの町）の一日震災訓練に参加しました。

午前中は南海地震の仕組みや地域の防災対策などの講義を受け、応急処置訓練で三角巾などを使用した応急手当や心肺蘇生法を、午後からは屋外でパケツリレールや消火器での消火訓練、土砂や瓦礫で生き埋めとなつた被災者（人形）の救出訓練など、6つの屋外訓練に取り組み、震災時に自分たちができること・しなければならぬことを、体を使いながら学びました。



AEDを使った心肺蘇生法を受講



被災者を励ましながらか助け出します

救出訓練では、指導の教官から「今から助けるのは人形じゃなく、人間と思つて」「余震がくれば作業をとめて避難して」「救助している側が二次災害にあつてはならない。引く（救助をやめる）勇気も大事」などのアドバイスを受け、救出訓練を行いました。

参加した皆さんは、土砂や瓦礫の下から人形が掘り起こされると、「大丈夫か！」と声をかけたり、「担架はまだか」と仲間に指示を出すなど、想像力を高めながら訓練に汗を流しました。訓練終了後には「実際にやってみることが大切。見ているだけでなく積極的に参加することの必要性がわ



ジャッキやボールを使って瓦礫から被災者を救出、毛布で担架を作って搬送します

今世紀前半にも発生するとされる次の南海地震では、さまざまな被害が予想されるうえ、大きな揺れによる道路や斜面の崩壊の他、津波により各地域が孤立すると考えられます。

防災に関する訓練や研修の場に多くの方が参加することで、災害時に各地域で活動できる人材が増えることとなります。皆さんも次の機会にはぜひご参加いただき、災害に向き合える、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

そして、わがまちの女性防火クラブや防災サポーターとともに地域防災力を高めましょう。



防災サポーター養成講座に参加した皆さん

この記事に関するお問い合わせは

【本庁】総務課 消防防災係

☎43-2112(直通)

【佐賀総合支所】総務課 総務係

☎55-3113(直通)までお願いします。